

宮私幼だより

No. 129
社団法人 宮城県私立幼稚園連合会
〒980-0803
仙台市青葉区国分町三丁目6-12
佐正第二ビル 6F
TEL 022-263-7040 FAX 263-7925
<http://www.miyashiyo.or.jp/>
編集・発行人
理事長 村山 十五



事務局だより

○関係機関団体

5月8日 幼稚園等新規採用教員研修会（県と共催・県庁講堂）

5月29日 私立幼稚園振興対策協議会総会（東京エレクトロンホール宮城）

6月2日 宮私幼PTA連総会（東京エレクトロンホール宮城）

6月18日 県私学審議会（県庁）

○全日私幼連

4月22日 全日私幼連常任理事会（東京）

5月12日 全日私幼連理事会（東京）

5月27日 全日私幼連定時総会（東京）

6月15日 全日私幼連常任理事会（東京）

6月26日 第17回全日私幼連 東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会（弘前大会）（弘前）

6月27日 第1回全日私幼連東北地区会（盛岡）

6月30日 全日私幼連常任理事会（東京）

7月1日 全日私幼連理事会（東京）

○宮私幼のあゆみ

4月15日 研究委員会

4月24日 総務給付委員会

5月13日 常任理事会・総務給付委員会合同会議

（2頁に続く）

巻 頭 言

「こどもの豊かな環境キャンペーン」大作戦

宮私幼理事長 村 山 十 五



平成21年度の県内の連合会加盟園の園児数が、昨年度より、827名減少しています。いくら少子化とはいえ、想像以上の減少であります。公立幼稚園等も含めれば、1,000名以上の減少とされます。人口問題研究所の推計によれば、全国で、4歳以下の幼児の減少傾向が平成40年ごろまで続くと思われ予想されております。一方、宮城県の保育所待機児童数は、21年4月現在、1,000名を越えています。同時に、共働き世帯も平成12年以降、増加傾向にあります。これらの状況を勘案すると、私立幼稚園はますます厳しい状況になることが予想されます。預り保育や子育て支援の充実が保育所に対抗できる唯一の方法ではないかと思われれます。

昨年の園児募集の時期になりますが、全国の私立幼稚園園長研修会が仙台を会場にして開催されました。その際、今後の少子化対策として、“なんか、いい智恵がないものか”という声があり、この6月の全国の総会で、「こどもの豊かな環境キャンペーン」が承認されました。近々に具体的な活動内容が発表されることになっていますが、PTAや企業、医師会、メディア、行政等々にも働きか

けながら、こどもの健康、こどもの安全、幼児教育の充実に努めたいと考えています。

もちろん、まだ、結婚していない若者達の将来のことも考えながら運動を展開します。2学期はじめにはお知らせできると思いますので、その際には、加盟園の先生方のご協力をお願いします。

幼児教育の無償化が議論されております。一時、幼保の一元化も話題になりましたが、いつの間にか、立ち消えになりました。当面は、就園奨励費補助金の増額により、保護者負担の軽減を図ることに重点がおかれております。義務化も当然のことながら、難しい状況にあります。そんな中、幼児教育の質の向上のための緊急環境整備補助金が予算化されました。遊具等設備の充実、地デジ対応テレビの購入、感染予防等、補助額はまだ決定されておりませんが、今年度中には交付される予定です。1/3補助なので、自己資金が必要であり、使い勝手も悪い補助金ですが、全日私幼の運動の成果の補助金なので、有効に使ってほしいものです。



(1頁の続き)

5月14日 決算監査会

5月18日 理事会、広報委員会

5月20日 研究委員会

5月29日 第1回総会(東京エレクトロンホール宮城)

6月8日 研究委員会

6月12日 常任理事会・総務給付委員会合同会議

6月18日 研究委員会・第1回地区研修担当者連絡会議

6月24日 平成21年度宮私幼教育振興大会・第38回宮私

幼PTA研修大会(東京エレクトロンホール

宮城)

7月3日 広報委員会

7月7日 平成22年度全日私幼連・第25回東北地区私幼

教研大会(宮城大会)準備会

7月10日 研究委員会

7月10日 総務給付委員会

7月13日 経営委員会

○慶弔
3月5日 本郷 嘉男氏(将監・七北田幼稚園 理事長・

園長)ご逝去

4月9日 菅原 萬氏(双葉・ふたばバンビ・ふたば

エンゼル・ふたばハイジ・さいわい幼稚園

理事長)ご逝去

以上7月15日まで

スポットニュース

お知らせ

県からの運営費補助金の内示がありました。昨年の金額より低くなったとの問い合わせが数件ありましたので、算定方法を確認したところ、昨年と比較して約3,000円低くなっております。学芸園の標準的な計算式は以下のとおりです。

H20年 7月

$(156,838円 - 2,000円) \times 0.8 = 123,870円$

H21年 7月

$160,988円 \times 0.75 = 120,741円$

なお、3月の最終交付金額は、園児1人当たり、160,988円の予定です。



Close・up 理事会

平成21年度宮私幼理事会の概要

日時 5月18日(月)午後2時～

場所 宮私幼会議室

議題

- (1) 平成21年度第1回通常総会の議案について
 - ①第1号議案 平成20年度事業報告について
 - ②第2号議案 平成20年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
 - ③第3号議案 役員補充について
- (2) 表彰規定の一部改正について

報告事項

- 平成21年度第1回通常総会の議長、議事録署名人及び司会について

「幼児教育の質の向上のための緊急環境整備」

1. 幼児教育の質の向上のため環境の緊急整備を行うことにより、質の高い環境で、子どもを安心して育てることができ体制を整備することを目的とする。
2. 事業内容
 - (1) 事業内容
 - ①遊具等環境整備・施設における遊具・運動用具・教具・保健衛生用品の整備
 - ②デジタルテレビ等整備・施設におけるデジタルテレビ等の整備
 - (2) 事業の実施主体・都道府県
 - (3) 事業者・学校法人又は社会福祉法人(幼保連携型認定こども園を設置する場合に限る)
3. 補助基準額・補助率
 - (1) 補助基準額・①遊具等環境整備 1施設当たり2,000千円 ②デジタルテレビ等整備 デジタルテレビ1施設当たり245千円 アンテナ工事 1施設当たり200千円
 - (2) 補助率・①遊具等の整備 認定こども園を構成する幼稚園 国1/2、事業者1/2 以外の幼稚園 国1/3事業者2/3 ②デジタルテレビ等整備 幼稚園 国1/2、事業者1/2
4. 対象経費
 - (1) 遊具・運動用具・教具・保健衛生用品等の教育の質の向上に必要な整備に要する経費(短期間のうちに消耗する物品や個人の所要に係る物品を除く)
 - (2) デジタルテレビ等整備に係る経費

新宮私幼事務局長紹介

宮私幼事務局長 櫻井道夫



平成18年3月に宮城県を退職し、第二の職場である(財)宮城県フェリー埠頭公社で3年間勤務し、今年の4月から悠悠自適の生活を送るはずであったが、4月下旬に県人事課からの紹介で、村山理事長の面接を経て正式には5月1日から宮私幼事務局に1年間お世話になることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年3月に、群馬県に嫁いだ娘が2歳になるヤンチャ坊主を引き連れて、2人目の出産のため里帰りした。最初のうちは物珍しさか一家総出でちやほやししながら孫の面倒を見ていたが、世話する方が段々疲れてきていたところに5月2日に2人目が誕生しました。

出産後も、人一倍活発な孫の世話やら夜泣きやらで、家庭もパニック状態。子育ての大変さを実感した今、あらためて幼稚園、保育園の存在、重要さを認識しております。

平成21年度 第1回宮私幼総会

—平成21年5月29日(金)午後1時30分 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)(参加者107名・委任状提出53名)—

宮私幼村山理事長より、インフルエンザによる長期の休園に伴う保育料や給食費の返還が問題となりえます、大阪では日割りで返す園もあったとのこと、私どもも子どもたちの安全・安心のためにこのような危機管理に備えておかなければならないと痛感しました、と挨拶がありました。

県私学文書課青木課長から、文科省での幼稚園担当者会議で幼児教育振興対策についての研究会の中間報告があったが、発達段階の脳科学から教育的効果が認められ、少子化対策として保護者への負担軽減などが検討されています。残念ながら幼児教育の無償化に至るまで険しい山があります。国においては、研究会の提言を受け就園奨励費補助金の引き上げとか補正予算における幼稚園の教育環境の予算処置により一層の整備を図ろうとしています。県においても財政厳しい中2.6%の増額を確保し、今後とも幼児教育の充実に向けていきたいと考えております。皆様におかれましては、このような国や県の制度を活用いただきながら、宮城の将来を担う子どもたちのために建学の精神に基づく多様な特色ある教育に努めていただき、幼児教育のより一層の発展に尽力いただくことを切望いたします。

宮私幼PTA渥美会長より、21世紀の宮城の宝である子どもたちへの教育にご尽力いただき心から感謝申し上げます。私たち宮私幼PTAは、子どもたちにとってよりよい教育環境を目指して皆さんと共に歩んでいきますのでよろしくお願い申し上げます。

議事に入り、退職手当給付事業への県の補助金についての質問があり、本連合会の公益法人化までの4年間は補助が受けられる見通しである旨の理事長の答弁がありました。

役員の補充および宮私幼表彰規定の一部改正について報告がありました。尚、全日私幼連のホームページがリニューアルされたので活用していただきたいとのことでした。

平成21年度 全日本私立幼稚園連合会東北地区大会 第17回私立幼稚園 設置者・園長研修会 (青森弘前大会)

大会テーマ「これからの私立幼稚園のあり方を考える」

(平成21年 6 月26日(金) 弘前市)



平成21年 6 月26日、津軽が生んだ文豪 太宰治生誕100年の佳節に沸く青森県弘前市で、標記の大会が開催されました。東北 6 県から約150名の設置者・園長が一堂に会して、私立幼稚園を取り巻く様々な課題を大会テーマに沿って「教育」「振興」「経営」「政策」の4分野から研究・協議し、研修を深め合いました。

開会行事の挨拶の中で来賓の木村太郎衆議員が、先日テレビのある討論番組の中で「無駄を省いて厳しい国家財政を立て直すには、防衛費と私学助成を削減すればよい、という発言があった。資源の少ない日本は、教育こそ国の根幹をなすものであり、それを削るとは時代に逆行するものだと、嚴重に抗議文を送った。(要約)」との話があり、まさにその通りだと思いました。幼児教育の無償化という長年の訴えが陽の目を見ようという大切な時期だからこそ、政治への監視・関心も十分にしていかなければならないとも感じました。

続いて、太宰治氏の長女であり文化芸術分野で活躍されている津島園子さんの「太宰治と真実の愛」というテーマで記念講演が行なわ



れました。貴重な写真を資料にしながら、家族の立場から作家として名を成していく太宰を語る姿は胸を打つものがあり、時折ため息のめれるような逸話がちりばめられた講演でした。なかでも、青森から東京へ出て井伏鱒二氏の下で勉強しながら結婚へと至る過程で、その頃が太宰にとって人生の最も充実した安穩の時期であり、“津軽”や“走れメロス”などの代表作が執筆されたのだそうです。また、太宰が口述し、それを奥様が筆記された作品が残されたことも初めて知りました。波乱に満ちた太宰の38年の生涯でしたが、最愛の弟を早くに亡くしたり、支え理解をしてくれる方々が次々と亡くなっていくという不幸な面が、“人間失格”や“斜陽”という作品を生んだ背景だということも新鮮な思いを持ちながら聞き入りました。

昼食をはさんで午後からは、4分野に分かれての研究・協議が活発に行われました。その中の第2分科会



「振興」部門で“認定こども園について”のテーマで話し合われた様子を紹介します。宮城県の横澤先生が問題提起者として、宮城県の現状を説明、それに対して認定こども園先進地である秋田県の武田先生と司会者の今野先生が各県の現状を報告してくれました。行政側の対応は、県ごとに温度差があり、希望してもその壁に跳ね返されることが多い。しかし国は推進していくという矛盾はある。そのような時代の中で、私立幼稚園の「日本の幼児教育を担う、担ってきた。」という強い責任と誇りを持って厳しい経営を頑張っていこうという園長先生方の思いが溢れる分科会となりました。

平成21年度宮城県私立幼稚園教育振興大会 第38回宮私幼PTA研修大会

大会テーマ「明日を担う子どものために」
～子育ては、親と地域と幼稚園～

(平成21年6月24日(水) 10:30～12:30 東京エレクトロンホール宮城)



今年度も東京エレクトロンホール宮城に於いて、溢れんばかりの保護者の皆さんと多数のご来賓をお招きし盛会に行われました。

第1部 振興大会

振興大会では、鎌田副理事長の開会の言葉、出張で不在の村山理事長に代わり私立幼稚園振興対策協議会の三塚百合子会長、渥美PTA会長の挨拶のあと、県議会会期中であることから村井知事



のご祝辞を代読して頂きました。

鎌田俊昭常任理事と布田早苗PTA副会長の二人で大会宣言を宣誓し宮城県へお渡ししました。



第2部 PTA研修大会

「子育ての未来に今、伝えたいこと」
～生きる力～

講師：内田玲子先生（家庭教育カウンセラー）

子どもに生きる力をつけるためにはどうしたら良いかということ、「すべての教育の原点は家庭教育にあり。」という持論に基き、具体的な例を挙げてお話していただきました。



私たちにはいろいろな癖があるが、親の生活の癖、心の癖がそのまま子どもに映っていることに気付いて欲

しい。まず、自分自身の生活の中の癖を認めることである。そして、不必要なことは言わない、相手の言葉そのものに答えることが大事である。例えば、子どもが学校から「ただいま!」と帰ってきたら、「宿題は?」「テストの結果は?」「今、忙しいから。」などとは言わず、まず「お帰り!」とひと言答えれば良い。子どもの最初の言葉をどう引き抜くか、子どもの最初の言葉が生きる力の大きな宝である。

ある集まりの時に、鹿児島県の教育長が挨拶の中で次のように話された。「人間は、生まれた時は皆平等でヒト科の動物である。基礎・基本を教える人間にするのか、自由気ままに育てて、そのまま動物にするのか。」……家庭がどのように関わっていくかの問題である。子どもは、第一に家庭、第二に地域、そして学校の三拍子で、協力し合っ

て育てていく。母親がヒステリックで、父親が無関心の家庭の子どもは暴れるようになる。子どもが幼い時期に感情的に怒鳴りつけて子どもの心をペしゃんこにしてしまっている。その結果、思春期になって暴れるという形で返ってくる。行く末は、引き籠り、家庭内暴力(殺人)、自死となる。これが子育ての方程式である。それぞれの良い所を認めて育てる。子どもが失敗した時にどう捌き取るか。直感力を育てるのは親である。心が変化した時、淋しい時に出すサインをどう受け入れるか、親に何かを教えているとプラスに受けとめて、対処したい。受け入れてもらった時に心が開くのである。実践しなければ、答が出ない。暮らしの中に、生活の中に答がある。どのように育てられたかが今の姿である。落ち着いて子育てをして欲しい。



また、生き方は死に方にも通じる。死は偉大な平等である。名声や地位を得た人が長生きするわけではない。全ての人に平等である。生きている時に起こした様々な問題をどのように残すのか。役割を果たすために命を与えられ、役割がある間は生かされる。役割を果たすことにより、時代が進歩するのである。

生活の中に根がある。早く自分のくせを認めて欲しい。気づいた時から始めたい。

新理事長・新園長紹介

地域や家庭から必要とされる 保育園づくりをめざして ますみ保育園 園長 齊藤美和子

この4月より、ますみ保育園の園長としてまいりました。

私は、仙台市の保育所で40年間保育士として、子ども達と関わり、その間17年間は所長として勤務してまいりました。



ますみ保育園は、開園して6年目で、緑に囲まれた自然豊かな保育園です。地域からの期待も大きく定員を超えて入園しております。

前園長が培われた保育方針や地域との連携を私も、しっかり守っていきたく思います。

また、改定保育所保育指針の施行に伴い、保育園の役割として「保育に欠ける児童の保育を行い、その健全な心身の発達を図ること」や「保護者に対する子育て支援」等が明確化されました。

子どもの育ちに大きな責任を持ち、保護者支援を行うためには、職員の一層の質の向上が求められます。

今後とも、地域や子育て家庭から必要とされる保育園づくりをめざして、職員と共に微力ながら励んでまいります。

皆様のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

ひまわりのように 塩釜ひまわり幼稚園 園長 江湖貴恵

今年度4月より、塩釜ひまわり幼稚園の園長を務めております。平成元年より20年間クラス担任・主任・副園長と勤め、慣れたところ(場所)ではありませんが、初めての園長職の重み・責務は日に日に増し戸惑いもいっぱい毎日慌ただしく職務に追われております。まずは前園長の Motto でありました、『ひまわりの花のように・・・元気で！明るく！！』を引き継ぎ、子どもたちも保護者のみなさんも地域の方々もそして教職員もみんな『ひまわり』のような笑顔いっぱいの幼稚園であるために・・・私に何ができるか？何をすべきか？を最優先して邁進していきたくと思っております。



まだまだ若輩者ですので、先輩の園長先生方のご助言やご指導は私にとっては大きな力、勇気になります。たくさん事を学んで参りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

子供の未来の姿を思い浮かべながら しげる幼稚園 理事長 沼田 洋

沼田学園しげる幼稚園理事長沼田實の後任として、昨年7月に就任致しました。前任者同様宜しくお願い申し上げます。

今しげる幼稚園では教師に頼らずに主体的に他の子供と関わり合いを求めて、友達同士で遊びを発展させ、自発的に遊ぶ子供が増えてきています。



このように元気で探求心旺盛な姿を見ることができるようになったのも、実は平成17年に隣接地に設置した認可保育園での新しい保育実践論に触れたことが、新たな視野での保育に取り組むきっかけになりました。従来からの保育を再考することで、教師は子供に「してあげる・やってあげる」というこれまでの意識を捨て、子供たちが生き生きと自発的に活動できるようお互いに認め合う信頼関係を築いていきたいと考えるように変化してきました。

これまでの日々の反省を踏まえ、現状の子供の問題点を見出し、発達過程に合った保育環境の向上を検討し解決できればこれ以上の喜びはないと思えます。

取り組みが始まったばかりですが、子供たちが未来のことを思い試行錯誤しながら保育環境を考え少しでも前進したいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちのために はなぶさ幼稚園 設置者・園長 菅野貫順

今年の春、寺の代表役員交代に伴い、はなぶさ幼稚園の設置者兼園長となりました。今後とも宜しくお願い致します。

先日、天気も良く気温も高めなので、園児たちを裸足で遊ばせた時のことです。庭に水を撒いたところ、あっという間に乾いてしまいました。それを見ていた年少児が、



「お庭も喉が渇いていたんだねえ！」と一言。年齢が上がると勉強して、気温や湿度がどうのこうのと説明するところでしょうか、この地球も生きていくという仏教園ならではの感想に、救われたような気分でした。

昨今起きている事件の背景には、家庭環境に恵まれなかったことに起因する旨の意見がいろいろと出されています。幼児教育に関わる一員として、家庭教育並びに幼児教育の重要性をアピールし続けると共に、柔軟な頭をもつ子どもたちの教育環境の整備に尽力しなければと思う次第です。

幼 な 子 と と も に

幼稚園訪問記・新坂通幼稚園



〒981-0933 仙台市青葉区柏木三丁目1-28
園児数20名 2クラス
(年少6名、年中2名、年長12名)

今回は、仙台市青葉区の東北大学病院の北側にあります、新坂通幼稚園にお伺いしました。

昭和31年に私立幼稚園として認可されました、赤いフランス瓦の園舎で地域の子どもたちを多数受け入れ、園庭には樹齢二百年程の松の木が傘のように茂り園児たちを常に見守っているかのようです。

昨年5月に前設置者・園長の星野艶子先生がご逝去され、現在は、息子さんであります、星野隆明先生ご夫妻が園運営に携わっており、いろいろとお話を伺うことができました。



園長 星野隆明先生

＜手作りのホカホカの給食とは・・・＞

前園長が女学校の頃に体験した給食により、食べ物を好き嫌いなく食べることができたことや温かい食べ物を美味しく食べることができた思い出から、是非、幼稚園においても、園舎内で調理し、温かくて、栄養のバランスが優れ、更に低価格で子どもたちに食べさせてあげたいという強い思いがありました。園内の調理室では園児が多かった頃は5人で調

新坂通幼稚園では

- 保育時間
9:30～13:30
- 預かり保育
13:30～16:30
- 給食
水、金曜日の2回、園内の調理室から低料金で提供し、その他はお弁当になります。
- 特色教育
 - ・知能構造理論に基づく「S I あそび」により柔軟な思考力と想像力の育成を目指しております。
 - ・体育教室、美術教室や英語教室の実施

理しておりました。規制等の関係で毎日提供できませんでしたが、週2回までは子どもたちに提供することができました。

＜通ってくる子どもたちは・・・＞

ここは寺町であり、民家が多いとはいえ、学生用のアパートが多い地域といえますが、東北大学病院が近くにありましたから、そこの職員のお子さんが通うことがあり、口こみで園児が遠方からも登園するようになりました。本園には通園バスがありませんので保護者の方々は通勤の途中に幼稚園へ子どもを登園させておりました。

＜特に力の入れている教育等がありましたらお聞かせください＞

「知能構造(S I)理論」に基づく「S I あそび」を導入しております。

「S I あそび」とは、子どもたちが本来、食欲なまでに学びたいという意欲と知的なものに対する好奇心を持っている



ることを学習する力に結びつけられるように、親や教師からの強制ではなく、自分の目で見、自分の耳で聞き、自分の手で触れ、自分の心で思い、自分の頭で考え、自分自身の躍動感をしっかりと子どもにつかませることで、人間としてたくましく生きていく力を育み、将来にわたって学び続けていくための器を作ることを目指しております。

このあそびは、急速に知能が発達する幼児期に正しい保育理論に基づいた指導によって、幅広い思考力を育てようとするのが「S I あそび」なのです。

「できた」・「できない」ではなく、自分で気づいていく過程を大切にしております。

＜PTAが熱心に活動しているようですが・・・＞

昔からの伝統のように、本園PTAの保護者の皆さんは毎年記念誌を発行するなど、熱心に活動しています。これも通園バスでの送迎ではなく、保護者と通園することになるため、保護者も毎日幼稚園に足を運ぶことが保護者同士の連帯感を強めているのだと思います。



✿ 登米市長へ要望 ✿



7月3日、宮私幼登米地区幼稚園(登米幼稚園・さくら幼稚園・あさひ幼稚園)及びPTA関係者20名が登米市庁舎を訪問し市長に要望書を手渡しました。今年で5年連続となります。

まず始めに、これまでの陳情の中で実現していただいたことや行政から

私学に配慮していただいた下記の事項に感謝を申し上げます。

◎平成19年度より、市内公共施設の使用料が全額減免されるようになり、園児の活動やPTAの諸行事等で大変助かっております。また市のバス利用もぐんと利用しやすくなりました。

◎登米市広報誌へ園児募集についてのお知らせを「広報とめ11月号」に掲載していただけるようになりました。

◎幼稚園から小学校への入学をスムーズにするための幼小連携(交流)が定着して、安心して園児を小学校へ送り出すことができるようになりました。

今回は次の7項目の支援と要望を提出しました。

人口動態調査で出生率がわずかながらでも増加傾向にあるという明るい報道がありましたが、対象となる幼児の減少という厳しい状況は今後も続くと思われる。私たちは地域の子育てと幼児教育を担うという理念を掲げ、設置者・教職員・保護者共に手を携えて一層の努力をしていく決意でございます。よってここに

1. 幼稚園就園奨励費補助金の充実(保護者が受け取る補助金)
2. 運営費補助金交付(幼稚園が受け取る補助金)
3. 登米市原油高騰対策「幼児教育施設等」補助事業の継続について
4. 保護者負担金の格差是正(公・私幼稚園間の保育料格差の縮減)
5. 幼稚園・保育園等の教職員の交流や情報交換の機会を行政主導で進めてほしい
6. 特別支援児を受入れる小学校への配慮について
7. 新型インフルエンザの対応について

市長からは、ざっくばらんにどんなことでもお話しくださいとの呼び掛けがあり、お母様方から「乳幼児の病院問題」などの意見も出されました。お忙しい中、市長も約1時間に亘って熱心に耳を傾けて下さり、「要望の内容はよくわかりました。厳しい財政状況ですが、関係者と検討してご返事を差し上げたい。」との回答をいただきました。

地区別設置者・園長会議開催日程

- ◆ 8月7日(金) 仙台地区
14:00~
旭ヶ丘市民センター
- ◆ 8月17日(月) 気仙沼・登米地区
13:00~
南三陸ホテル観洋
- ◆ 8月18日(火) 大崎地区
14:00~
レストランスギヤマ
- ◆ 8月20日(木) 名取・岩沼地区
14:00~
岩沼南こぼと幼稚園
- ◆ 8月21日(金) 塩釜・多賀城地区
10:00~
塩釜グランドパレス

- ◆ 8月25日(火) 石巻地区
14:30~
石巻グランドホテル
- ◆ 8月27日(木) 仙南地区
15:00~
熊野幼稚園

訃報

- 3月5日 本郷嘉男氏(将監・七北田幼稚園 理事長・園長)ご逝去
- 4月9日 菅原 萬氏(双葉・ふたばバンビ・ふたばエンゼル・ふたばハイジ・さいわい幼稚園 理事長)ご逝去

【表紙によせて】 新坂幼稚園の保育室から

編集後記

宮私幼だより129号をお届けします。新型インフルエンザ対策には頭を悩ませた1学期でしたが、秋冬に毒性を増し猛威をふるわないように祈るばかりです。夏休み期間に園の危機管理について再考しなければと思います。

さて、ある会合で地デジは半額補助とかの話を目にしましたが、厚生労働省のホームページを調べてみたら、「安心こども基金」に関する内容に記載されて

いまして、幼稚園関係では「認定こども園」だけが対象のような表記だったので学校法人園や社会福祉法人の幼保育連携型認定こども園が対象だことに驚きました。「安心こども基金」も102条園を対象外とし、学法化を促す役割を果たしているとは・・・、同じ日本の国民のこどもたちが通っている園なのに・・・?

また、政権交代で私学補助を削減し他の財源にするって話も本当なの? それも大変だな・・・。(H)